2023
12月号

福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南１－９－８
ケイ・アイビル２Ｆ
TEL　092-433-3338
FAX　092-433-3535
Mail：fukuciku@gmail.com
（ＨＰはこちら）

〈11.3憲法フェスタ in 福岡　戦争への道 NO！九条改憲 NO！〉

九州の国土を戦場にさせてはならない

敷戸、佐世保、築城、佐賀など各地から基地強化の実態報告

九州各地の米軍共同演習や、弾薬庫、オスプレイ配備の実態が報告された「憲法フェスタ in 福岡　戦争への道ＮＯ！九条改憲ＮＯ！」に参加しました。フェスタは、11月3日（金・祝）文化の日に警固公園で開催されました（主催者発表で４００人が参加）。集会後は天神市内をデモ行進し、九州の国土が基地化されている危険性を訴えました。

集会には九州各地から４つの団体がかけつけられ、各地の軍事基地強化の危険な実態を訴えました。

1．大分県敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会
2．長崎県佐世保平和委員会
3．福岡県築城基地の米軍化を許さない！京築住民会議
4．佐賀県オスプレイ裁判支援市民の会

警固公園で『戦争ＮＯ！』を訴える参加者たち

大分の弾薬庫配備周辺は、小学校から大学までであり約2万世帯が暮らしている住宅地の中にあります。住民の暮らしが危険にさらされます。佐世保には水陸機動団という3つめの殴り込み部隊を配備しようとしています。築城基地は米空軍と空自との共同訓練が12月5日から始められています。佐賀空港隣には陸上自衛隊が普天間から移設する17機のオスプレイ配備に向け、住民の同意もなく土地を強奪し、新たな駐屯地建設を急ピッチで強行しています。いずれの報告者も地元で毎日活動している多忙な中、この集会で切実に訴えられました。

自衛隊が優先使用狙う　民間の空港や港湾

九州内には熊本健軍駐屯地に地下司令部が、宮崎の新田原基地の米軍基地化、鹿児島は奄美駐屯地強化、馬毛島の米軍施設強化など建設が「特別会計」で強行されています。自衛隊の基地だけでなく「民間の空港、港湾施設等の利用拡大を図る」として、大分空港、徳之島空港、奄美空港、博多港など40の民間空港・港湾を自衛隊が優先使用するための枠組みをつくろうとしています。これらの自衛隊基地の強化や空港・港湾の地元での合意が得られれば、「特定重要拠点（仮称）」に指定され、２０２４年度予算案に計上され整備されることになります。私たちはこのような九州の国土を戦場にする政府の動きをなんとしても止めなければなりません。

（編集委員　惠藤）

〈23年秋季年末闘争勝利！11・10中央行動〉

イスラエル・ガザは即時停戦を　日本政府は停戦のための行動を

国民春闘共闘は、11月10日、「23年秋季年末闘争勝利！11・10中央行動」を展開し、福岡地区労連から内田事務局長と福岡県労連加盟組合の仲間が参加しました。

集会の冒頭、国民春闘共闘の小畑雅子代表幹事（全労連議長）は、まずイスラエルによるガザ攻撃を強く非難し、即時停戦と、日本政府に停戦のための行動を起こすよう求めました。岸田政権が打ち出す新たな経済対策は「一時しのぎに過ぎない」と強く批判。「労働者の奮闘で実現した賃上げも物価高騰に追いつかず、実質賃金は、18カ月連続のマイナスだ。持続的な賃上げは消費税5％への減税、インボイス中止でこそ実現できる」と指摘しました。政府ができることとして、物価高騰に見合う、公務員のさらなる賃上げ、最低賃金の大幅引き上げ、医療従事者などの賃上げに関わる診療報酬改善などを挙げ「まともな経済政策、賃上げ政策を今すぐ提示すべき」と強調しました。

日比谷野外音楽堂に全国から仲間が集結

集会終了後、参加者は国会前までデモ行進を行い、議員会館で要請行動を行いました。

（編集委員　内田）

〈福岡県労連　青年部第15回定期総会開催〉

活動を共有し、新しい視点で運動を

11月26日、福岡県労連大会議室にて、第15回県労連青年部定期総会が開催されました。総会では、次世代の幹部育成と産別・業種を超えた交流を行いました。青年として、これまでの運動を継承しながら、新しい視点で運動に変革を起こせるよう挑戦し、活動を広げ、また、強めていく方針を掲げました。福岡地区労連は、今後、若者の活動に注視していきます。

定期総会は、はじめに福岡県労連の三苫議長代行より、「若い人たちの要求の実現と若者が声を上げることが必要です」と挨拶がありました。その後、松尾部長より開会の挨拶がありました。議案提案では今坂書記長より一年間の活動経過報告と松尾部長より15年度運動方針の提案がありました。活動の柱として3つを提起されました。①産別・業種を超えた交流の場をつくる、②ともに学びあうことのできる学習の場をつくる、③ソーシャルアクションを通じて、様々なコミュニティとのつながりをつくる、3つの柱を軸に活動をしていくことを確認しました。

運動の在り方を議論する青年部

活動報告で互いの問題を共有

各加盟組合から活動報告がされました。

福岡医療団労組の松尾書記長からは、診療報酬は、自民党政権下で下がり続けており、2024年に診療報酬と介護報酬が改訂されるが、診療報酬は再度、下がる可能性が高いと言われています。病院経営は厳しくなる一方であり、隠れ倒産もかなり増えています。診療報酬と社会保障をセットで増やすことを求めて運動をしていくと報告がありました。

福建労県本部の中森書記長からは、インボイスが問題になっており、一人親方は親会社からインボイスを取ってこないと値引きさせるぞと言われる事案が増えています。インボイス廃止を求めて運動を進めていきますと報告がありました。

全印総連の今坂氏からは、印刷業界は紙離れが進む中で、印刷のみでは立ち行かない企業が増えてきており、印刷業界では退職者が年々増えていますので、人が辞めないで働ける業界にするための組織づくりを、すすめていきたいと報告がありました。

福岡地区労連では、今後も若者の活動支援のために運動を注視していきます。

（編集委員　松尾）

<アマゾン倉庫前　ブラックフライデーアクション>

「気候正義」浮かび上がる労働問題

福岡医療団労組　田口　智彦

11月24日に博多区吉塚のアマゾン倉庫前にて「Fridays For Future 福岡」主催のブラックフライデーアクションを実施し県労連、地区労連などから多くの労働者が集まり、声を上げました。

資本主義社会の下では、地球温暖化や異常気象などの気候危機が最も緊急で深刻な課題となっています。同時に、アマゾンのような企業が利潤追求を推し進め、世界中で事業を展開していることに対して、そのような企業に環境問題に対する責任を果たす必要性を訴えるとともに、そこで働く労働者や個人事業主（フリーランス）への深刻な搾取構造の改善を求めています。

フリーランスは、2020年の内閣官房による調査で462万人と推計されています。

環境問題と労働問題は、一見関係がないように捉えがちですが、「気候正義」と言う言葉を通じて考えると、環境問題も労働問題も搾取構造の中で「不正義」に取り込まれていることが浮かび上がります。資本第一主義のもとで行われる大量生産、大量消費、大量廃棄の構造から生まれる不必要な物、そこで無権利に従事する人々の労働を守ることが喫緊の課題です。ご一緒に声を上げて変革を促進しましょう。

アマゾン倉庫前で資本主義社会の在り方を訴えるFFFの高田氏

〈ライドシェア問題〉

福岡市民を危険にする白タクの合法化

岸田首相は、今年10月にライドシェアの導入を検討することを表明しました。これを受け、規制改革会議は2種免許を持たず、自家用車で運賃を取るいわゆる「白タク」を合法化する流れを作ろうとしています。

福岡市の高島市長は、ライドシェアの導入をもくろんでいることがNHKで報道されましたが、直後に否定し、NHKの報道は誤報であると主張しました。しかし、市議会では、「タクシー不足の解消を国と協議する」とぼやかした回答をしています。

ライドシェアとは、自己責任で乗りたい人と乗せたい人をアプリでマッチングさせる有料のヒッチハイクで、タクシーとは全く異なります。日本では利用者が危険にさらされていることから道路運送法で禁止しており、白タク行為として厳しい刑罰が下されます。

海外ではライドシェアを活用した人の性被害や殺人事件が多発し、日本の外務省は不測の事態が起こりうるとして、日本人に利用する際の厳重な注意喚起をしているほどです。ウーバー社は、性被害や強盗事件などが毎年3000件前後あったことを公表しています。

福岡市民を危険にする導入は許せません。

（編集委員　内田）

項目		タクシー	ライドシェア
会社		車両保有、運転者雇用、運行全体に責任を負う	仲介のみで運行には責任を負わない
運転者	運転免許	二種免許＋登録制度（講習、試験あり）	一種免許
	労働時間管理	義務	管理・規制なし
	運転前アルコールチェック	義務	管理・規制なし
	経歴や資質	社員として管理	社員でない
車両の規制		整備、清潔保持など規制	規制なし
事故時の責任		会社が対応	自身で対応
保険の補償		保険加入義務付け	不明

タクシーとライドシェアの違い

今後のスケジュール

●インボイス中止を求める運動
12月22日（金）18：00～
博多駅筑紫口

●福岡地区春闘共闘
2023年度総会
1月21日（日）
受付12：30開会13：00閉会17：00
リファレンス駅東

●新春旗開き
1月21日（日）18：00～20：00
リファレンス駅東